

第六回 6月14日(水) : プログラム

- 科学と人々の間をつなぐ道
- 誰でもわかる、砂時計
- 将来への責任

受講者の声 :

開発途上国の保健問題の解決のためにはプログラムが大事であり、山に例えると、「フィラリア症制圧」という山の頂上にある目標に到達するためには、プログラムで筋道をつけてあげる必要があります。しかし、その道を通って最終的に頂上に上るのはその国の人です。私も途上国で働く際には、その土地のことを一番知っている地域住民と共に保健問題について話し合い、住民に決定させ、彼らが自分たちで達成したと感じられるよう、良きガイド役になって支援していきたいです。全6回のフィラリア塾を通して、一盛先生の情熱を感じました。私も常に情熱をもって、国際保健の世界で生きていきたいと思えます。